

梅毒

千葉県の2016年1～47週の梅毒の届出数は118例となった。過去5年の同時期と比較し届出数が多く、前年同時期の2015年1～47週の届出数65例の1.8倍となっている(図1)。そこで、2016年1～47週に届出された118例についてまとめた。

図1 2011年～2016年47週の千葉県の梅毒累積届出数 390例

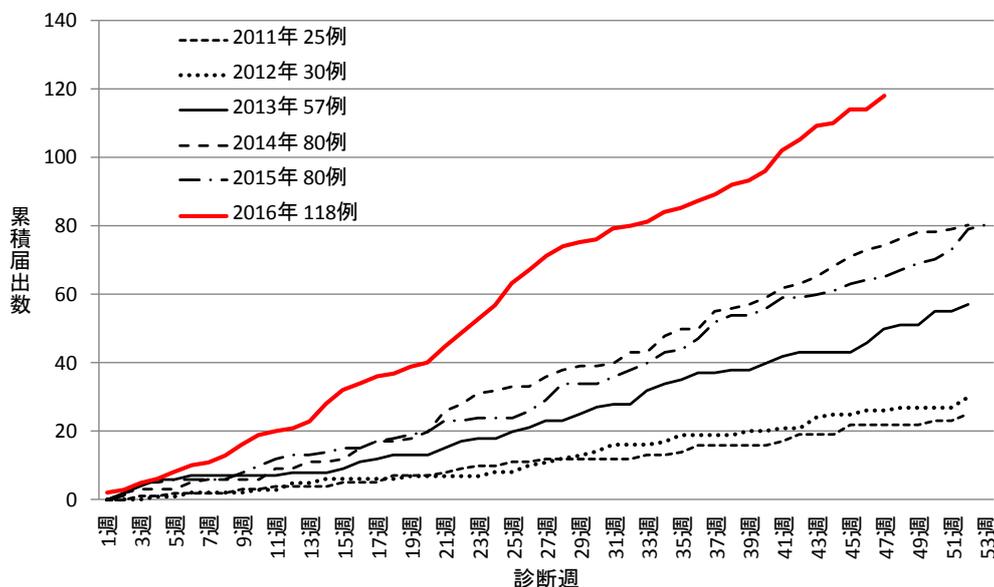
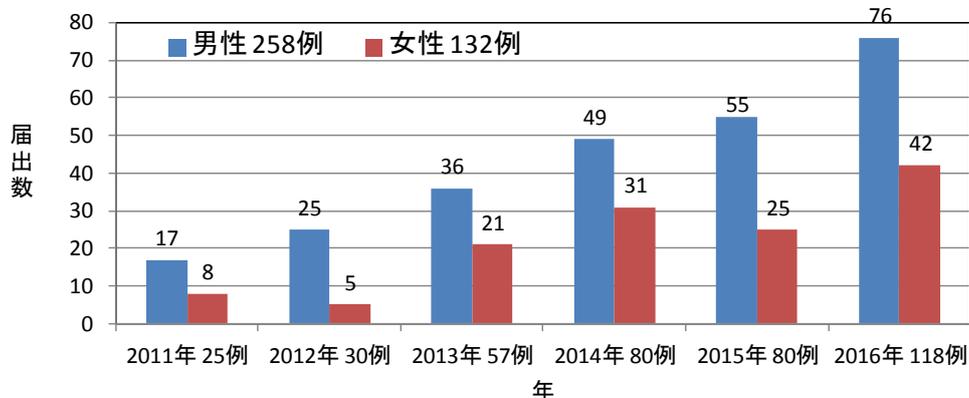


図2 2011年～2016年47週千葉県の梅毒 年別・性別届出数 390例



保健所別では、千葉市26例、松戸20例、船橋市13例、市川13例、柏市12例、印旛9例、習志野8例、君津4例、市原3例、安房3例、山武2例、夷隅2例、野田1例、香取1例、海匝1例であった。

性別では、男性76例(64.4%)、女性42例(35.6%)であった(図2)。

年齢群別では、男性は20代が22例で28.9%を占め、女性は20代が19例で45.2%を占めた。

病型別では、男性は早期顕症梅毒(I期)33例(43.4%)、早期顕症梅毒(II期)23例(30.3%)、無症候(無症状病原体保有者)19例(25.0%)、晚期顕症梅毒1例(1.3%)で、女性は早期顕症梅毒(II期)21例(50.0%)、無症候(無症状病原体保有者)16例(38.1%)、早期顕症梅毒(I期)3例(7.1%)、晚期顕症梅毒2例(4.8%)であった。

感染原因・感染経路として推定または確定されたのは、男性は性的接触(性交)42例(55.3%)、性的接触(異性間)33例(43.4%)、性的接触(不明)16例(21.1%)、性的接触(同性間)15例(19.7%)が多く、女性は性的接触(性交)28例(66.7%)、性的接触(異性間)26例(61.9%)が多かった(複数報告あり)。